

医師のコラム

# 白内障

きまたなつこ  
朝霞台中央総合病院 眼科部長 木全奈都子

## 白内障とは

眼の中の水晶体(レンズ)が濁る疾患で、多くは加齢によるものが原因ですが、先天性のもの、アトピー性皮膚炎や糖尿病などの全身疾患、薬剤(ステロイド)によるもの、眼の病気やけがに続いておこるものなどがあります。症状はかすむ、まぶしい、二重に見える、眼鏡の度が変わった、などの症状があらわれ、次第に視力が低下してしまいます。治療は初期の状態であれば進行を遅らせる点眼薬がありますが、残念ながらあまり効果はありません。症状が進行し生活に不便を感じるようになれば、手術が必要です。現在全国では年間100万件の方が白内障手術によって視力をとりもどしています。



外では  
まぶしくて見えにくい。



二重、三重に見える



視力が低下して  
仕事に支障がある

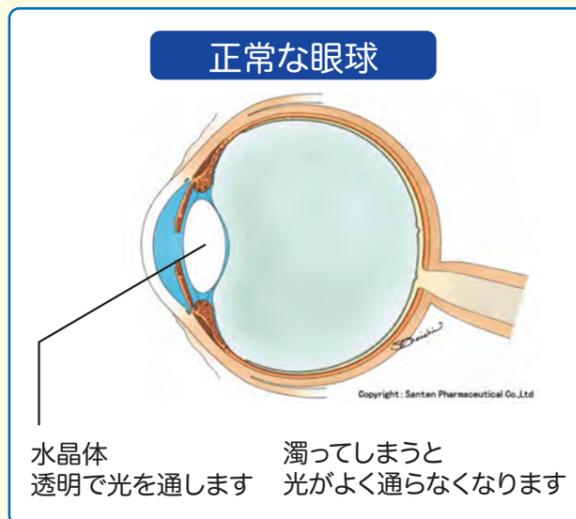


視力が0.7以下になって  
運転免許の更新ができない。

## 白内障の手術

濁った水晶体を超音波で砕いて吸い取り、人工レンズを入れるという方法です。技術の進歩により傷口も3mm程度で短時間に安全に行われるようになりました。進行した成熟白内障では手術方法が難しくなりますので、最近ではあまり進行しないうちに手術を受けることが好ましくなっています。白内障のほかに病気がなければ、手術後に良好な視力を回復することができます。

手術の時期は人によって様々ですが、眼底疾患の治療を控えている方や目を使う仕事の方・運転する方は早めの手術が必要です。また、白内障を放っておきすぎると眼底疾患の治療が遅れてしまったり緑内障や炎症をおこしたりすることもあります。定期的に眼科を受診して適切な時期に手術が受けられるようにしましょう。



## 日帰り白内障手術について

当院では全身疾患を合併する方が多く入院が原則でしたが、日帰りの手術も可能となりました。ただし、安全に手術や術後の管理ができるように、下記の条件を満たす患者さんに限って行っています。また、状況により手術当日のみ1泊入院し、あとは通院で行うことも可能です。詳しくは診察時に医師とご相談ください。

- 初期の白内障で、日帰り手術を希望されている方
- 自宅が近く通院が可能である
- 安全に術後管理ができる  
(家族が付き添える、安静がとれる、点眼薬や内服の管理が自分でできる、眼帯をした場合反対の眼の視力がよく見える、など)
- 身体の重い病気(心疾患、呼吸器疾患、糖尿病等)や白内障以外の眼の重い病気がない

## 手術のスケジュール



術前検査(身体・眼)を行ったあと、内科診察を受け、眼科で手術の説明を行います。  
3日前から術前点眼を開始します。



手術は月曜と木曜が手術日で、通常片眼3～5日間、両眼6～8日間の入院となります。  
日帰りおよび1泊入院は月曜のみです。



手術翌日・翌々日、術後1～2ヶ月間は数日から1～2週間毎に、術後3～4ヶ月間は数週～1ヶ月毎に診察があります。点眼加療が数ヶ月必要です。  
乱視や老眼のような症状については、数週～数ヶ月たち安定した後に眼鏡をつくります。

～気になる症状がございましたら、早めの眼科受診をお勧めします～